

所属	農学生命科学部	氏名	荒川修
課題名	着色系'ふじ'の着色管理に関する研究		
<p>1. 概要</p> <p>リンゴは青森県における基幹産業であり、品質の高さでブランドが確率されている。今後このブランドを維持して行くためには、高品質果実生産の技術や品種開発が不可欠である。数ある品種の中でも'ふじ'は生産量の半分以上を占める重要品種であるが、着色しにくい欠点があり、着色管理に多くの労力を必要とし、着色しやすい着色系枝変わり品種（芽条変異）が見いだされて栽培されている。しかしながら、それらの着色系品種の着色特性の違いや、省力的な着色管理法は明らかにされていない。</p> <p>そこで本研究では、現在実際に苗木が販売され、生産されている'ふじ'の着色系の着色特性を明らかにし、着色しやすい特性を生かした省力的で効果的な着色管理・促進法について研究を行う。</p>			
<p>2. 画像の説明</p>			